

azur

リアカメラ付きドライブレコーダー

DRX-019R

取扱説明書



保証書別添付

この度は、リアカメラ付きドライブレコーダーをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

- 「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受取りください。

目次

はじめに

■ 安全上のご注意(必ずお守りください)	1
■ 使用上のご注意(必ずお守りください)	4
■ 商品構成一覧表	6
■ 各部の名称と働き	7

準備

■ 本体の取り付け	9
■ microSDカードについて	13
■ 電源オン/オフについて	15

操作方法

■ 録画について	16
■ 動画記録モード	18
■ 静止画撮影モード	22
■ 再生モード	25
■ パソコンによる記録ファイルの読み出し	27
■ 録画時間について	28
■ トラブルシューティング	29
■ 仕様	30

- 本書で使用しているイラストや画面例は、実際の製品と異なる場合があります
- 各画面写真はハメコミ合成で、色および仕様等は実際の製品と異なる場合があります
- 実際の製品画面や機能は、性能や機能改善のため、予告なく変更する場合があります

安全上のご注意(必ずお守りください)

安全のために必ずお守りいただくことを説明しています。

交通事故防止等安全確保のため、必ずお守りください。

	警告	人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項
	注意	人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために守っていただきたい事項
	禁止	絶対にしてはいけない事項
	強制	必ず守るべき事項



警告

**必ず規定容量のヒューズを使用する
また、交換は専門技術者に依頼する**

- 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご依頼ください。(ヒューズ: 2A)

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を及ぼす場所には、絶対に取り付けない

- 運転に支障をきたす場所(シフトレバー、ハンドル付近など)前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しない

- ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因になります。

運転者は走行中に操作をしない、また画像・表示を注視しない

- 走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる

- 車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウインカーなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す

- ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめて固定しておく等をしてください。事故やけがの原因になります。

安全上のご注意(必ずお守りください)

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける

- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。火災や感電、事故の原因になります。

DC12V-24Vマイナスアース車で使用する

- ⚠ DC12V-24Vマイナスアースの車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や故障の原因になります。

故障や異常のまま使用しない

- 🚫 煙ができる、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因になります。
●直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

分解や改造はしない

- 🚫 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。
●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

ステーなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

- 🚫 誤って、飲み込む恐れがあります。万が一飲み込んだと思われる時は、直ぐに医師にご相談ください。

機器内部に水や異物を入れない

- 内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。飲み物などがかかるないようにご注意ください。

使用しないコードの先端などは、絶縁処理する

- 被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子 ⊖ を外しておく

- バッテリーのマイナス端子 ⊖ を繋いだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

指示に従って正しく配線・取り付けを行う

- 取扱説明書に従って正しく配線・取り付けをしないと火災や事故の原因になります。

配線・取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する

- 取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

安全上のご注意(必ずお守りください)

車載用以外には使用しない

 車載用以外(例えはレジャー・ポートやアウトドア等)に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

強い衝撃を与えない

 落下させる、叩くなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

コードをかみこませたり、引っ張ったり傷つけない

 ショートや断線により、発火や故障の原因になることがあります。

必ず付属品や指定の部品を使用する

 指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

高温になる場所などに取り付けない

 直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

 雨や洗車などで水がかかったり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けない

 強い曲面等に取り付けると、走行中に外れる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

感電の原因になるので、接触禁止

 雷が鳴り出したら、シガーエンジニアブラーには触れないでください。感電の原因となることがあります。

本機の通風孔を塞がない

 本機内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。

使用上のご注意(必ずお守りください)

- 本機を使用中の交通事故、交通違反に関しては、一切の責任を負いかねます。安全運転をお心がけください。
- 本機はすべての状況において映像を記録することを保証するものではありません。
- 記録された映像やデータの損傷、破損による損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機を取り付けたことにより、車両や車載品の故障、事故などの損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。



注意

取付中は中エンジンを切る



本機の取り付けは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。車両のキーがONの状態で取り付けると、感電及び故障の原因になります。

磁気性があるものに近づけない



本機の近くに磁気性があるものを置かないでください。本機の誤作動及び故障の原因になります。

画質が落ちることがあります



トンネル入出時のように、急に明るさが変化する場合、逆光が強い場合、夜等光源が無いなどの条件では、録画品質が落ちることがあります。

フロントガラスと本機レンズの表面をきれいにする



車のフロントガラスと本機レンズの表面をきれいにしてください。ほこりや異物による反射と屈折現象で、きれいに録画できない可能性があります。

信号機の色を認識できないことがあります



LED方式の信号機では画面がちらつくことがあります。また、色の認識ができないことがあります。

microSDカード容量超えを注意する



本機は8GBのmicroSDカードを付属しています。緊急録画で記録された動画は上書きされないので、カードの容量を超えることがあります。

シガーアダプターについて



付属のシガーアダプターは車のシガーソケットに直接接続してください。シガーソケットを分岐させたアダプターには接続しないでください。火災や故障、誤作動の原因になることがあります。

シガーアダプターについて



長期間本機を使用しない場合、シガーアダプターを車のシガーソケットから抜いてください。火災やバッテリー上がりの原因となります。

使用上のご注意(必ずお守りください)

取付ステーの使用について



付属の取付ステーは運転に支障をきたさない位置、またエアバックなどの安全装置の動きを妨げないようにお取り付けください。

取付ステーの使用について



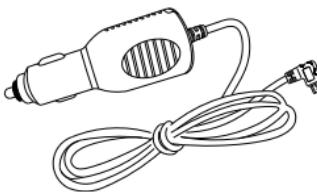
ステーを取り付ける前に、フロントガラスの表面をきれいにしてください。ほこり・異物は両面テープに影響があり、落下・脱落する恐れがあります。

商品構成一覧表

本機を使用する前に、必ず同梱物を確認して下さい。



■ドライブレコーダー本体



■シガーアダプター



■microSDカード 8GB(本体に装着)



■取付ステー



■USBケーブル



■リアカメラ/延長ケーブル(6m)



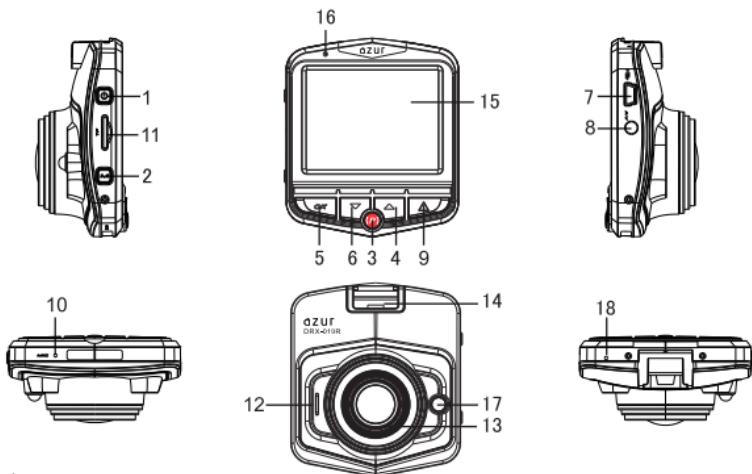
■取扱説明書



■保証書

※はじめから破損していたり、付属品が不足している場合には、ご購入店にお問い合わせください

各部の名称と働き



1.電源ボタン

長押しすると、電源がオンになります。

電源オンの状態で長押しすると、電源がオフになります。

2.MENUボタン(メニュー ボタン)

一回押すと、各モードの設定メニューを表示します。

もう一回「MENU」ボタンを押すと、もとのモードに戻ります。

※録画中はMENUボタンが動作しません。録画を停止してから動作します

3.駐車監視ボタン

動画記録モードで、このボタンを押すたびに、駐車監視機能をオン/オフに切り替えます。

オンに設定した時は画面上に「P」マークが表示されます。

オフに設定した時は画面上に「R」マークが表示されます。

※駐車監視機能は本体電源オフ状態時のみ動作します

※駐車監視の機能はフロントカメラのみ働きます。リアカメラによる駐車監視機能は働きません

4.カーソル(▲)/表示画面切替ボタン

表示画面の切り替えまたはカーソルの移動を行います。

表示画面切り替えは以下の通りとなります。

<ワイプ画面→2画面表示→フロントカメラ画面→リアカメラ画面→ワイプ画面→…>

※ワイプ画面以外に画面設定されていても、電源OFFから再起動するとワイプ画面に戻ります

5.OKボタン(確認ボタン)

・設定メニュー:項目や設定値を決定します。

・動画記録モード:録画開始/停止します。

・静止画撮影モード:静止画を撮影します。

・再生モード:動画を再生/停止します。

各部の名称と働き(つづき)

6.カーソル(▼)/マイクオン・オフボタン

カーソルの移動。

マイク オン/オフを切り替えます。

7.miniUSB端子

付属のシガーアダプターと接続します。

8.リアカメラ入力ポート

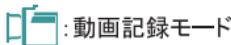
リアカメラのケーブルを接続すると、自動的にワイプ画面に切り替わります。

※フロントカメラのみ接続している状態(録画中)で、リアカメラを接続するとフロントカメラ及びリアカメラの録画はリストアされます

※リアカメラを接続すると、画面表示が自動的にワイプ表示となります

9.MODEボタン/(△)ボタン

録画停止中に押すと、以下の各モードを切り替えます。



:動画記録モード



:静止画撮影モード



:再生モード

※録画中にこのボタンを押すと、緊急録画が開始されます

10.マイク

11.microSDカード挿入口

12.スピーカー

13.レンズ

ご注意:

工場出荷時は、レンズに保護フィルムが貼ってありますので、ご使用の前に剥がしてください。

14.ジョイントレール

15.液晶モニター

16.動作ランプ

本機動作状況を表示します。

17.赤外線ライト

18.リセットスイッチ

本体が正しく動作しなくなった時に押してください。

ご注意:

リセットをすると、強制的に再起動します。

本体の取り付け

取付ステーを使って、車に本体を取り付けます。

ご注意

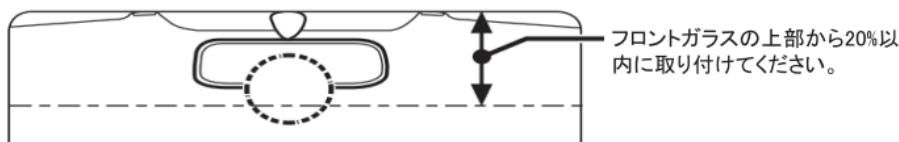
本機を車に取り付ける前に、次の内容をご確認の上、取り付けてください。

- 道路交通法及び関連する法令・規定類に抵触しないよう正しく取り付けください。
- 車に取り付ける際には、運転の支障となる場所には取り付けないでください。
- 視界の妨げにならないように取り付けてください。
- フロントガラスの上部20%の範囲以内に取り付けてください。
- 同梱品の取付ステーは両面テープで固定されます。一度取り付けると取り外しが難しくなりますので、ご注意ください。
- 同梱品のシガーアダプター以外の物を使用しないでください。
- ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- 車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- 本機は防水構造ではありません。雨などで本機やシガーアダプターが濡れないようご注意ください。
- ワイパーの拭き取り範囲以内に取り付けてください。降雨時など鮮明に記録できます。
- シートベルトやエアバックなどの安全装置の動きを妨げ場所には、取り付けないでください。事故の際に安全装置が作動せず、けがの原因となります。

推奨取り付け位置(参考)

取り付け位置(正面)

1.ルームミラーの後部、フロントガラスの中央に設置すると、最適の映像を録画できます。



2.ルームミラーの後部、フロントガラスの中央部に設置できない場合は、ルームミラーの左側、もしくは右側にも設置することができます。

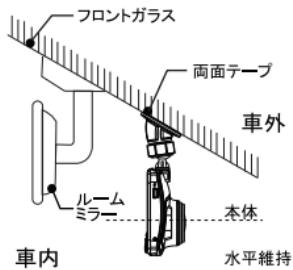
※中央部に設置できない場合、録画映像が片方に寄る可能性があります。



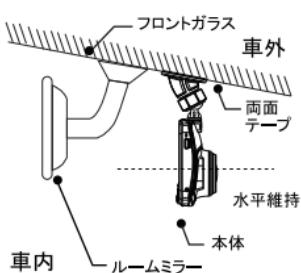
本体の取り付け(つづき)

取り付け位置(側面図)

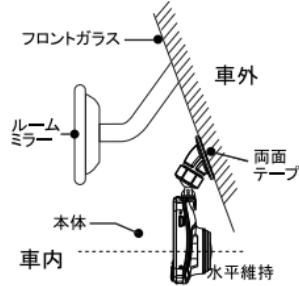
■一般的な乗用車



■フロントガラスが寝ている車



■ワンボックスやトラックなど



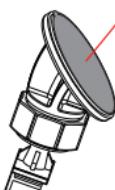
※図のように前方を遮ることがないように取り付けてください

※図のように本体が水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと正しい状態で録画ができません

取り付け方法

1.取り付ける場所を選び、その場所の汚れや油分をきれいに取り除いてください。

保護フィルムを剥がす

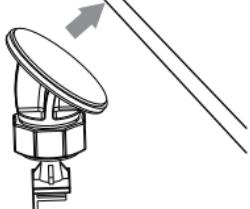


2.ステーの両面テープから保護フィルムを剥がして、フロントガラスに取り付けてください。

※固定力を強くするために、本体を取り付後24時間以上放置してから使用してください

※貼り直しはテープの粘着が弱まり、脱落する恐れがあります

フロントガラス



本体の取り付け(つづき)

3.本体のジョイントレールをステーに合わせて、
矢印の方向に本体をスライドして装着します。
※取り付けステーのジョイント部の向きに注意して、奥まで
確実に装着してください。確実に装着していないと、走行
中に落下する恐れがあります

4.車の進行方向にレンズの角度を調整します。

※取り付けステーのジョイント部に無理に力を入れ
ないでください。破損することがあります



取り外し方法

ステーから取り外す時には、本体を矢印の方向に
スライドしてください。



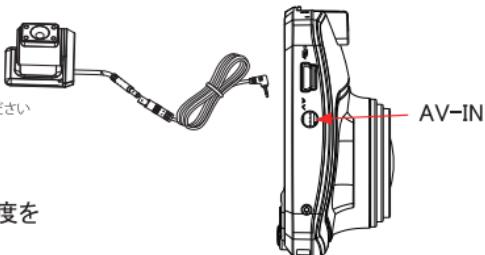
本体の取り付け(つづき)

リアカメラの取り付け方法

1.リアカメラを接続する

リアカメラ端子を本体のAV-INポートに接続します。

※リアカメラを接続する際は、本機の電源がOFFの状態で接続してください



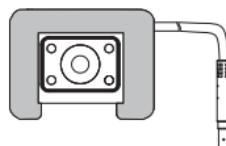
2.カメラの位置を確認する

取り付けたい位置に合わせてカメラの角度を調整します。



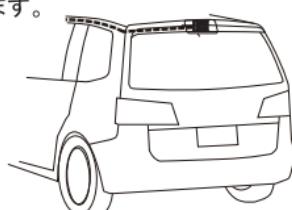
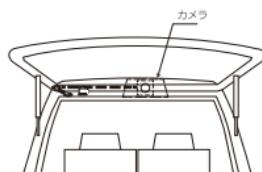
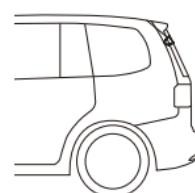
3.ブラケットを後部ガラスに貼り付ける

カメラの角度を調整後、貼り付け面の汚れや油分を拭き取り、よく乾燥させた後に、両面テープでしっかりと後部ガラスに貼り付けます。



4.ケーブルを配線する

パックドアやトランクをゆっくり開閉して配線が挟まれていないかを確認してください。
本体およびケーブルに損傷ができると、
カメラ内部やケーブルに湿気や水が入り、
破損の原因となることがあります。



※上記イラストでは、車内上側を配線していますが、車種によっては、取り回しにより、車内下部や内張内等)を通す必要があります。

ご注意:

- 取付車種によっては、指定の位置に取り付けることができない場合があります。
- 取付位置によって、太陽光などの光の反射の影響を受けやすくなる場合がありますので、取付の際は、適切な位置を確認しながら取付を行ってください。
- リアカメラを取り付ける際は、液晶画面で映像が上下逆さまになっていないことを確認してください。

microSDカードについて

ご注意

microSDカードをご使用になる前に、次の内容を確認してください。

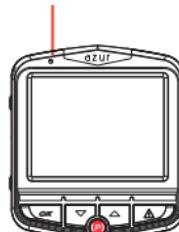
- 付属のmicroSDカードを使用してください。指定以外のmicroSDカードを使用されると、データの破損や記録ができない恐れがあります。
- microSDカードの容量によっては、起動時間が変動する場合があります。
- 本体の電源が入った状態で、microSDカードの抜き差しをしないでください。
- microSDカードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
- microSDカードを取り出す時には、車のエンジンを止めるか、またはシガーソケットから電源アダプターを抜き、本体の電源ボタンで電源をオフにしてください。
- 必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してから、microSDカードを取り出してください。
- 動作LEDが点灯している状態でmicroSDカードを取り出すと、ファイルやカード自体が破損する恐れがあります。
- microSDカードをフォーマットすると、記録された内容等がすべて削除されます。予めパソコン等にバックアップすることをお勧めします。
- フォーマット作業によるmicroSDカードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。
- フォーマット作業によるmicroSDカードのデータ消失やその他の損害が発生した場合、弊社として責任を負えません。
- 思わぬ故障や破損等により、データが消失する可能性がありますので、定期的なデータのバックアップをお勧めします。
- 市販のmicroSDカードによっては、認識しない場合や挿入、取り外しにくい場合があります。
- 本機は、8GB～32GB(Class6以上～Class10)のmicroSDカードに対応しています。
ただし、全てのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。
- UHS-I規格の製品は、Class10互換を謳っていても動作しない場合があります。また、UHS-IIやU3規格の製品は対応していませんので、カードご購入に際しては互換性にご注意ください。
- microSDカードは消耗品ですので、定期的に新品への交換を推奨します。正常に使用していても、長期間使用すると、正常に記録できなくなる場合やカードエラーになり使用できなくなる場合があります。
- microSDカードの消耗に起因する故障や損傷においては、弊社が保証するものではありません。
- 重大な事故などで電源が断たれた場合には、撮影ができなくなります。また、microSDカードに記録されているデータが破損してしまう可能性があります。
- あらゆる事象において破損、消失したデータの復旧サービス等は行っておりません。

microSDカードの抜き差し

1. microSDカードを抜き差しする時は、必ず電源が入ってないことを確認してください。

※本体作動中、microSDカードを抜き差しすると、データの破損や本体の故障になる恐れがあります。

本機動作ランプが点灯していないことを確認してください。



microSDカードについて(つづき)

2. microSDカードの向きを確認してスロットに差し込んでください。

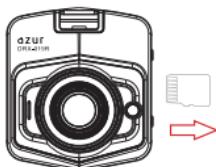
3. microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認してください。

※「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

4. microSDカードを抜き出す時は、カードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き出します。

※microSDカードを抜き差しする場合は、必ず電源をオフにしてから行ってください。電源が入っている状態で抜き差しを行うと、データが破損する恐れがあります

※microSDカードを抜き出す際、飛び出すことがありますので、紛失にご注意ください



microSDカードのフォーマット

本製品には8GBのmicroSDカードが付属しております。

初めてご使用する時もしくは保護ファイルによりカード容量の上限に達した時は、下記の手順よりmicroSDカードをフォーマットしてください。

※フォーマットする前に、重要なデータをバックアップしてください

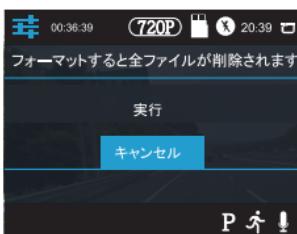


1. microSDカードが本体に装着されていることを確認してください。

2. 本体の電源を入れてください。

3. 録画停止中、「MENU」ボタンを押して設定メニューに入ります。

4. 「フォーマット」を選択し、「OK」ボタンで決定します。「実行」を選択し、「OK」ボタンでフォーマットを実行してください。



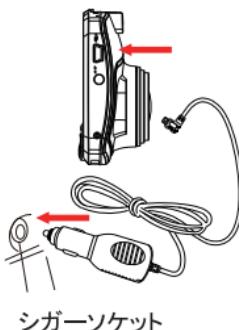
電源オン/オフについて

電源オン

エンジンをかけ、シガーソケットに通電されると自動的に電源がオンになります。

電源がオンになると、自動的に録画が開始されます。

手動で電源のオン/オフを切り替えるには、本体の電源ボタンを2秒程度長押しします。



<製品使用上の注意事項>

| エンジン連動ON機能について

本製品は、取り付け車両のバッテリー電圧のコンディションや配線の取り回しによっては、車のエンジンを始動した場合、エンジン連動で起動しない場合があります。また、本体の内蔵バッテリーの充電状態(空もしくは充電不足等)によっても、正しく動作しない場合があります。

その場合、本体側の電源ボタンで電源を入れるようにしてください。また、充電不足もしくは長期間、本製品をご使用にならなかつた場合は、通電を行い、充電をするようにお願いいたします。

| アイドリングストップ車での電源OFFについて

アイドリングストップ車で本製品をご使用されている場合、車両のバッテリー電圧のコンディションによって、アイドリングストップ状態からエンジン始動のタイミングで製品の電源がOFFとなる場合があります。

その場合、本体側の電源ボタンで電源を入れるようにしてください。

電源オフ

エンジンを切り、本体に電源供給がされない状態が5秒続くと、自動的に電源がオフになります。

オートオフ

内蔵バッテリーで動作する場合、録画停止中または設定時間内にボタン操作をしないと、本体の電源が自動的にオフになります。

録画について

録画の種類(録画方法)

●ループ録画(常時録画)

本機の設定により、1分間/2分間/3分間のループで録画します。

常時録画時は、1分間/2分間/3分間単位で続けて録画します。microSDカードの容量を超えると、古いファイルから順番に上書きされます。

1ファイル	1ファイル	1ファイル	1ファイル	1ファイル	録画継続…
-------	-------	-------	-------	-------	-------

●緊急録画

1.緊急録画とは…

録画中に、緊急録画ボタン[△]を押すもしくは本機に搭載されているGセンサーが衝撃を感じると、緊急録画モードで録画を開始します。緊急録画を開始すると、液晶モニター左上部に「」マークが表示されます。

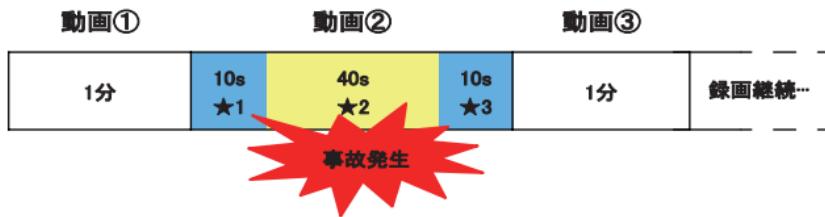


2.緊急録画形式

緊急録画開始時点により、ロックされる録画ファイルが異なります。

例)

- ・常時録画ファイルのループ録画設定を「1分間」に設定時、動画①→②→③…と録画が継続されます
- ・動画②で事故発生時、緊急録画が開始されます
- ・★は、緊急録画の開始ポイント



録画について(つづき)

- ★1:動画②の最初から10秒以内に事故が発生し、緊急録画が開始されると、動画①と動画②がロックされます。
- ★2:動画②の最初・最後10秒以外に事故が発生し、緊急録画が開始されると、動画②がロックされます。
- ★3:動画②の最後10秒以内に事故が発生し、緊急録画が開始されると、動画②と動画③がロックされます。

3.緊急モードで記録されたファイル

緊急録画のファイルはmicroSDカード内の容量が上限に達した場合は上書きされません。
※常時録画ファイルは古いファイルから上書きされます



4.緊急録画完了

緊急録画が終了すると、液晶モニターの「」マークが消え、常時録画に戻ります。

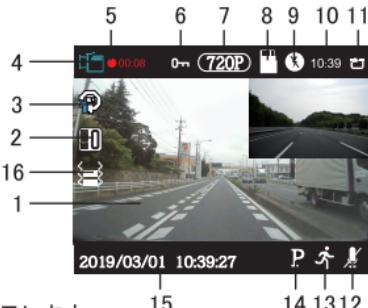
ご注意

- 「緊急」とは、本機が衝撃を感知した場合という意味になります。
- Gセンサーが「ソフト」に設定されている場合、衝撃が検出しやすくなります。
Gセンサーが「ハード」に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。
- 常時録画ファイルは、microSDカードの容量が上限に達した場合、古いファイルから上書きされます。
- 緊急録画で記録されたファイルは上書きされません。
- microSDカードに緊急録画ファイルが多く保存されている場合かつmicroSDカードの容量が上限に達した場合、録画ができなくなりますので、保存の必要がある重要なデータは定期的にパソコン等にコピーしてから、microSDカードをフォーマットしてください。
- 常時録画と緊急録画モードで記録されたファイル名は異なりますので、取り扱いにご注意ください。
- Gセンサーや動体検知、駐車監視機能はフロントカメラが感知を行います。リアカメラは感知機能が働きません。動作が働いた場合は、リアカメラが接続されている場合に限り、フロントカメラ、リアカメラぞれぞれ録画を行います。

動画記録モード

動画記録画面

1.液晶モニター



2.露出補正アイコン

3.ループ録画モードアイコン

1分間/2分間/3分間の設定表示をします。

4.モードアイコン

動画記録モードのアイコンを表示します

5.録画中アイコン

録画中は点滅表示します。また、録画時間を表示します。

6.緊急録画アイコン

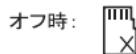
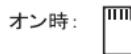
緊急録画中の場合、アイコン表示をします。

7.解像度アイコン

映像記録の解像度を表示します。

8.microSDカードアイコン

microSDカードの挿入状態を表示します。



9.赤外線ライトアイコン

赤外線ライトのオン/オフ状態を表示します。

・オン=⚡

・オフ=✗

10.時刻表示

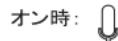
本機に設定された時刻を表示します。

11.電源アイコン

通電中、点滅表示します。

12.音声録音アイコン

Voice Recordの状態を表示します。



動画記録モード(つづき)

13.動体検知アイコン

Motion Detectをオンに設定した場合、アイコン表示されます。

録画停止中に動体検知すると自動的に録画が開始され、10秒後に自動的に録画が停止されます。また、動体検知が作動している間は録画が継続されます。

※動体検知の機能はフロントカメラのみ働きます。リアカメラによる動体検知は働きません

※駐車監視機能が作動した場合の録画時間は30秒間となります

14.駐車監視アイコン

駐車監視機能のオン/オフを表示します。

オン時:「P」

オフ時:「R」

※駐車監視の機能はフロントカメラのみ働きます。リアカメラによる駐車監視機能は働きません

15.日付・時刻表示

本機に設定された日付と時刻を表示します。

16.G-Sensitivityアイコン

G-Sensitivity(Gセンサー)の状態を表示します。バーが3つの場合が高感度となります。

※Gセンサーによる衝撃感知はフロントカメラが感知を行います。リアカメラによる感知機能は働きません

動画記録モードの設定

録画停止中、本体の「MENU」ボタンを押すと、設定メニューが表示されます。



動画記録モード(つづき)



項目	設定値	説明
解像度	720P(▲)	録画ファイルの解像度を1280×720に設定します。
	WVGA	録画ファイルの解像度を800×480に設定します。
ループ録画	1分(▲)	録画ファイルのループ記録時間を設定します。
	2分	
	3分	
露出補正	0(▲)	数値-3、-2、-1、0、1、2、3の露出補正を設定します。
Motion Detect ※1	<input type="checkbox"/> (▲)	動体検知機能を使用するかどうかを設定します。※2 <動体検知機能について> ・動体検知機能は、動画記録モードしか使用できません
	<input checked="" type="checkbox"/>	・動体検知機能は、本機に電源を入れて、動画記録モードのスタンバイ状態のみ使用できます ・動体検知機能は、起動してから10秒間録画します。10秒以内に続けて動体検知ができなければ、録画停止となります
Voice Record	<input type="checkbox"/>	映像のみを記録します。音声は記録されません。
	<input checked="" type="checkbox"/> (▲)	映像と同時に音声を記録します。
駐車モード	<input type="checkbox"/> (▲)	駐車中、本体の電源がオフの状態で衝撃を感じると、自動的に電源がオンになり、録画を開始します。
	<input checked="" type="checkbox"/>	
日付プリント	<input type="checkbox"/>	動画に日時を記録するかを設定します。
	<input checked="" type="checkbox"/> (▲)	
G-Sensitivity	オフ	Gセンサーの感度を設定します。
	ソフト	・「ハード」に設定した場合は、強い衝撃のみに反応します
	ノーマル(▲)	・「ソフト」に設定した場合は、弱い衝撃も反応します
	ハード	

▲=工場出荷設定値

※1 エンジンOFF時に本機能を動作させる場合は、長時間録画用のバッテリー接続ケーブル「DRC-3」(別売)をお求めください。
DRC-3(別売)は、バッテリー保護機能は搭載していません。また、12V車対応であり、24V車は非対応となります。

※2 動体検知の機能は、フロントカメラのみ働きます。リアカメラによる動体検知は働きません。

動画記録モード(つづき)

項目	設定値	説明
ボタン音	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> (▲)	ボタンの操作音を設定します。
日付/時刻	—	初期設定値 = 2019/03/01 「▲」ボタンで、日時の数字をアップします。 「▼」ボタンで、日時の数字をダウントします。 「OK」ボタンで、設定した項目を保存します。カーソルが自動的に次の項目に移動します。
Auto off	オフ(▲) 30秒 1分 2分	内蔵バッテリーで動作する場合、録画停止中または設定時間内にボタン操作をしないと、本体の電源が自動的にオフになります。
表示言語	簡体字中国語 繁体字中国語 English 日本語(▲)	本機メニュー表示言語を選択します。
フリッカレス	50Hz(▲) 60Hz	東日本地域は50Hzに設定してください。 西日本地域は60Hzに設定してください。 ※記録撮影時にLED信号灯等のちらつきや消滅を防止し録画します
赤外線ライト	オフ(▲) オン Auto	夜間撮影時の赤外線ライトによる補助を設定します。
液晶OFF	オフ(▲) 10秒 30秒 1分	設定された時間が経過すると、自動的に液晶をOFFします。
フォーマット	実行 キャンセル(▲)	microSDカードのフォーマットを行います。 ※microSDをフォーマットする前に重要なデータをPC等でバックアップしてください
初期化	実行 キャンセル(▲)	すべての設定を工場出荷設定値に戻します。
バージョン	—	本機のバージョンを表示します。

▲ = 工場出荷設定値

静止画撮影モード

静止画撮影画面

静止画撮影モードへの入り方

録画停止中に「MODE」ボタンを押すと、静止画撮影モードに切り替えることができます。

液晶モニターで被写体を確認してから、「OK」ボタンを押すと撮影することができます。

※静止画撮影は液晶画面に表示されているフロントカメラもしくはリアカメラどちらか一方の撮影となります

1.液晶モニター

2.ホワイトバランスアイコン

3.露出補正アイコン

4.モードアイコン

静止画撮影モードのアイコンを表示します。

5.撮影枚数アイコン

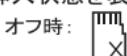
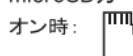
撮影可能枚数を表示します。

6.解像度アイコン

静止画の解像度を表示します。

7.microSDカードアイコン

microSDカードの挿入状態を表示します。



8.赤外線ライトアイコン

赤外線ライトのオン/オフ状態を表示します。

・オン= 

・オフ= 

9.時刻表示

本機に設定された時刻を表示します。

10.電源アイコン

通電中、点滅表示します。

11.駐車監視アイコン

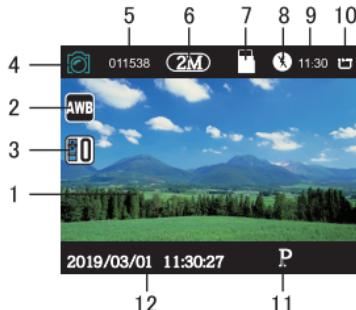
駐車監機能のオン/オフを表示します。

オン時:「 P 」

オフ時:「 R 」

12.日付・時刻表示

本機に設定された日付と時刻を表示します。



静止画撮影モード(つづき)

静止画撮影モードの設定

静止画撮影モードで、「MENU」ボタンを押すと、静止画撮影モードの設定メニューが表示されます。



解像度	2M(▲)	静止画ファイルの解像度を1920×1080に設定します。
	1.5M	静止画ファイルの解像度を1600×912に設定します。
	1M	静止画ファイルの解像度を1280×720に設定します。
ホワイトバランス	Auto(▲)	Auto、晴天、曇天、タングステン、蛍光灯
露出補正	0(▲)	露出補正(設定値=-3、2、1、0、-1、-2、-3)を設定します。
日付プリント	□	画像に日付や時刻を記録するかを設定します。
	☑(▲)	
ボタン音	□	
	☑(▲)	ボタンの操作音を設定します。

▲=工場出荷設定値

静止画撮影モード(つづき)

項目	設定値	説明
日付/時刻	—	初期設定値は2019/03/01 「▲」ボタンで、日時の数字をアップします。 「▼」ボタンで、日時の数字をダウントします。 「OK」ボタンで、設定した項目を保存します。カーソルが自動的に次の項目に移動します。
Auto off	オフ(▲)	内蔵バッテリーで動作する場合、設定時間内にボタン操作をしないと、本体の電源が自動的にオフになります。
	30秒	
	1分	
	2分	
表示言語	簡体字中国語	本機メニュー表示言語を選択します。
	繁体字中国語	
	English	
	日本語(▲)	
赤外線ライト	オフ(▲)	夜間撮影時の赤外線ライトによる補助を設定します。
	オン	
	Auto	
液晶OFF	オフ(▲)	設定された時間が経過すると、自動的に液晶をオフします。
	10秒	
	30秒	
	1分	
フォーマット	実行	microSDカードのフォーマットを行います。 ※microSDをフォーマットする前に重要なデータをPC等でバックアップしてください
	キャンセル(▲)	
初期化	実行	すべての設定を工場出荷設定値に戻します。
	キャンセル(▲)	
バージョン	—	本機のバージョンを表示します。

▲=工場出荷設定値

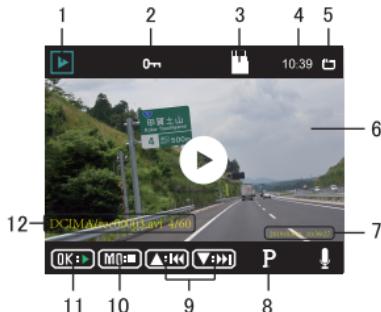
再生モード

再生画面

| 再生モードへの入り方

静止画撮影モード中に「MODE」ボタンを押すと、再生モードに切り替えることができます。再生モードでは、記録された動画・静止画ファイルを確認することができます。

再生モード画面



1.表示モードアイコン
動画/静止画を表示します。

2.保護アイコン
保護(ロック)されたファイルを表示します。

3.microSDカードアイコン

4.時刻表示
本機に設定された時刻を表示します。

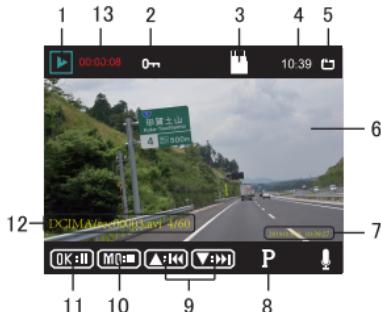
5.電源アイコン
通電中は点滅表示します。

6.液晶モニター

7.日付・時刻表示
動画や静止画を撮影した日時を表示します。

8.駐車監視アイコン
駐車監視機能のオン/オフを表示します。

記録ファイル再生/表示中の画面



9.ファイル切り替えアイコン
カーソルボタンで前/次のファイルに切り替えます。
※動画再生中にカーソルボタンを押すことにより、
2倍、4倍で早戻し/早送りができます

10.ストップアイコン
動画再生中に「△」ボタンを押すと、
再生を中止します。

11.再生/一時停止状態表示
動画再生中にOKボタンを押すと、
再生/一時停止を切り替えます

12.ファイル名/ファイル数表示
動画や静止画のファイル名とファイル数を表示します。

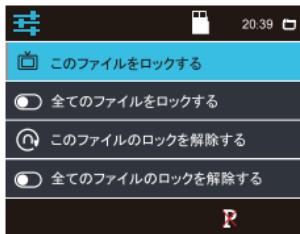
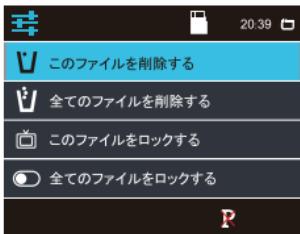
13.再生時間
再生している動画の進行時間を表示します。

再生モード(つづき)

再生モード設定

| 再生モード設定への入り方

再生モード中に、本機の「MENU」ボタンを押すと、再生モードの設定メニュー画面が表示されます。



項目	設定値	説明
削除	このファイルを削除する	選択されたファイル/全ファイルを削除します。
	全てのファイルを削除する	
保護	このファイルをロックする	選択されたファイル/全ファイルをロックします。 ※保護できるファイルは動画ファイルのみです
	全てのファイルをロックする	
保護解除	このファイルのロックを解除する	選択されたファイル/全ファイルのロックを解除します。
	全てのファイルのロックを解除する	

▲=工場出荷設定値

パソコンによる記録ファイルの読み出し

本機で記録したファイルをパソコンで確認(読み込み)することができます。

※対応OS:Windows XP / 7 / 8 / 10

※全てのパソコンについて動作を保証するものではありません

※パソコンの処理能力や環境等により、正しく再生されなかったり、期待した動作にならない場合があります

※ご使用のパソコンの設定により、説明内容と異なる場合があります

(パソコンの操作については、パソコンメーカーへお問い合わせください)

microSDカードをパソコンで読み取る

1.本機の電源をオフにしてください。

※電源オンの状態でmicroSDカードを取り出すと本機とファイル破損の恐れがあります

2.microSDカードを取り出し、カードリーダー等を使用してパソコンと接続してください。

※microSDカードのカードリーダーは付属しておりません

※microSDカードは大切に保管してください

※再度、本機を使用する前には、microSDカードを本機に挿入してください

3.パソコン上でmicroSDカードを開き、「DCIMA」または「DCIMB」フォルダを開きます。

※DCIMA(フロントカメラ映像)

※DCIMB(リアカメラ映像)

4.再生したいファイルをダブルクリックして、Windows標準のWindows Media Playerで再生することができます。

本製品で記録された動画をWin8/10で再生する時、PC/OSの性能によりスムーズに再生できない場合があります。その際は「VLC media player」での動画再生を推奨いたします。

※「VLC media player」というキーワードで検索し、ダウンロードが可能です

本体を直接パソコンと接続する

本機を直接パソコンに接続することができます。

1.USBケーブルで本機とパソコンを接続してください。

自動的に録画モードに入り、さらに約1秒後、下図の画面が表示されます。

2.本機の「OK」ボタンで「Storage」を選択すると、

自動的に外部ストレージが開かれますので、

「DCIMA」または「DCIMB」フォルダーを開いて

ください。

※DCIMA(フロントカメラ映像)

※DCIMB(リアカメラ映像)



3.再生したいファイルを選択して、再生します。

録画時間について

本機で使用するmicroSDカードの容量により、記録時間が異なります。

microSD カード容量	記録時間	
	WVGA(800×480)	720P(1280×720)
8GB	約50分	約40分
16GB	約105分	約90分
32GB	約225分	約190分

- 本機は8GB以上、32GB以下のmicroSDカードに対応します。
- Class6～Class10のmicroSDカードを使用してください。
- 上記の記録時間は目安であり、保証値ではありません。
- 被写体や周囲の環境により、記録可能な時間と件数が変化する場合があります。

トラブルシューティング

本機を使用時に、もし不具合が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目を確認して下さい。下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店またはサービスセンターまでお問い合わせください。

こんなとき	原因	対処方法
電源が入らない	・本機の電源はオンになっていますか? ・シガーアダプターは外れていませんか? ・ヒューズが切れていませんか?	・本機の電源をオンにしてください ・シガーアダプターを差し込んでください ・ヒューズを交換してください(2A)
誤動作する	—	本機のリセットボタンを押してください。 本機を再起動してください。 再起動とリセットをしても改善しない場合は、電源をオフにして、挿入しているmicroSDカードに保存されているデータをバックアップしてから、フォーマットしてください。
液晶画面に輝点がある	液晶パネルの特性です。不良ではありません。 (有効画素数99.99%)	—
録画ができない	・microSDカードが本体に挿入されていますか? ・microSDカードの容量を超えていませんか? ・microSDカードエラーが発生していませんか? ・動画記録モードに切り替わっていますか?	・microSDカードが本体に挿入されていることを確認してください。 ・「SDカードがいっぱい!」と表示された場合は、電源をオフにして、microSDカード内のデータをバックアップした後、フォーマットしてください。 ・対応しているmicroSDカードに交換してください。 ・動画記録モードに切り替えてください。
他の車載器に影響が出る (テレビが映らない等)	高性能なハイビジョン画質チューナーを搭載している場合などは、テレビ受信やラジオ受信に干渉し、受信感度が低下する場合があります。 また、ETCアンテナ付近に設置すると誤動作する場合があります。	テレビ、ラジオ、ETCアンテナ等から50cm以上離して取り付けをするか、アンテナ位置を離してください。 また、車両の各種センサー装置(安全運転支援装置、各種レーダー等)や防眩ミラーセンサー等がある場合は、それらの妨げにならない位置に設置してください。

フォーマットについて

長期間、SDカードをフォーマットせず、録画データを書き込み続けると、ファイルの断片化が発生しやすくなります。

定期的なフォーマット(SDカード内を初期化すること)をお勧めします。

※SDカードについておよびフォーマットについてはP.14を参照してください

もしも事故が起きたら

事故発生時は、記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずSDカードを取り外して、安全な場所へ保管するようにしてください。

※事故発生時の参考資料として使用することができますが、事故の証拠として効力を保証するものではありません

<保管場所について>

SDカードは精密電子部品となります。下記のような場所で取り扱い、保管をするとSDカード内に保存されているファイルが破損する恐れがありますので、ご注意ください。

- ・ 静電気が発生する場所
- ・ 水に濡れたり、湿気が発生する場所
- ・ 衝撃を受ける場所(曲げ・折り込む)
- ・ 腐食性ガスが発生する場所

仕様

型番	DRX-019R
商品名	リアカメラ付きドライブレコーダー
ディスプレイ	2.31インチカラー液晶
フロントカメラレンズ	100万画素カラーCMOS
フロントカメラ画角	水平:約83° 垂直:約46° 対角:約100°
フロントカメラフレームレート	27fps
リアカメラレンズ	30万画素カラーCMOS
リアカメラ画角	水平:約53° 垂直:約34° 対角:約58°
リアカメラフレームレート	25fps
録画ファイル単位	1分/2分/3分
動画解像度	720P(1280×720) WVGA(800×480)
リアカメラ動画解像度	480P(720x480)
静止画解像度	2MHD(1920×1080) 1.5M(1600×912) 1M(1280×720)
リアカメラ静止画解像度	0.3M(720x480)
動体検知	オン/オフ設定可能
音声録音	オン/オフ設定可能(フロントカメラのみ)
Gセンサー(衝撃検知)	内蔵(フロントカメラのみ)
映像フォーマット	AVI
画像フォーマット	JPEG
電源	DC12V~24V
消費電力	約2W
本体寸法(mm)	約63(W)×72(H)×33(D)(突起物除く)
本体重量	約58g(microSDカード含む)
リアカメラ重量	約28.8g
保存温度	-10°C~60°C
動作温度	0°C~50°C
付属品	シガーアダプター(約4m)×1 USBケーブル×1 延長ケーブル(約6m)×1 取付ステー×1 microSDカード(8GB×1) 取扱説明書×1、保証書×1

※紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください
※本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更する場合があります。予めご了承ください

azur

輸入元:株式会社イノベイティブ販売

〒343-0003 埼玉県越谷市船渡68-8

●お問い合わせはサービスセンターへ

電話…048-970-5027

※電話受付時間(土日祝祭日除く)

平日 9:00~12:00 13:00~17:00

<http://www.innovativesale.co.jp/>